

11月14日（木）、1年2組で国語科の努力点公開授業が行われました。単元は「じどう車ずかんをつくろう」です。紹介したい自動車の「つくり」について情報を集め、「つくり」を明確にして文章に書くことができるようにすることが目標です。児童は前時で自動車の「しごと」を調べています。この「しごと」と「つくり」をつなげられるかがポイントです。

初めに、今回の学習の流れを確認しました。「今日は『つくり』だ」と、教師が話す前から発言する児童もいて、単元を通した学習の流れを理解している様子でした。早速、同じ自動車を調べているグループに分かれ、タブレットで共有されている自動車の資料を参考に、自分が調べたい自動車の「つくり」を調べ、メモしました。



【「つくり」を調べる児童】

しばらくすると、「先生できました」という声が上がり始めました。教師が近付き、メモを見ました。「こんな『つくり』になっているのはどうしてだろう」「（資料を見て）広いんだね。このことも書けるといいね」と、一人一人に助言をし、自動車の「つくり」の情報が詳しくなるようにしました。

次に、今回の学習の「ずかんづくり」に移りました。前時に調べた「しごと」と、本時に調べた「つくり」をつなぐために、「そのために」という言葉を使うことを確認しました。その後、児童は調べた「しごと」と「つくり」をワークシートに書きました。メモをそのままワークシートに書き写す児童には、教科書のモデル文を参考に、メモを文章化できるように助言をしました。



【「ずかん」を書く児童】

その後、普通の座席に戻り、グループになりました。つまり、今度のグループの友達は、別の自動車について調べた友達です。そして、グループの友達と「ずかん」を読み合いました。中には、「これはどういうこと？」と、友達に質問する児童もいました。自分が調べたのとは別の自動車について書かれているので、児童は興味深く読んでいることが分かりました。



【「ずかん」を読み合う児童】

情報は、集めるだけでなく、関連付ける必要があります。関連付けた文章にするためには、「そのために」などのつなぐ言葉を正しく使うことが大切です。今回は、ワークシートを工夫して、調べたことを写せば文章が成り立つようになっていました。学年が上がるにつれ、ワークシートの工夫がなくても書くことができるように、ステップアップしていきます。次時は、「ずかん」に自動車の絵をかきます。「つくり」について詳しくなった児童が、どのような自動車の絵をかくのか楽しみです。